

# 優秀賞



設計者

## 土屋哲夫

■ 東京建築士会、(株)日建設計

公共施設

東京都墨田区押上

### 押上駅前自転車駐車場

構造・階数

鉄骨造

地上2階建て

敷地面積

3,080.37㎡

建築面積

1,943.65㎡

延床面積

4,048.04㎡

竣工

平成24年3月23日



A



B



C

#### 選評

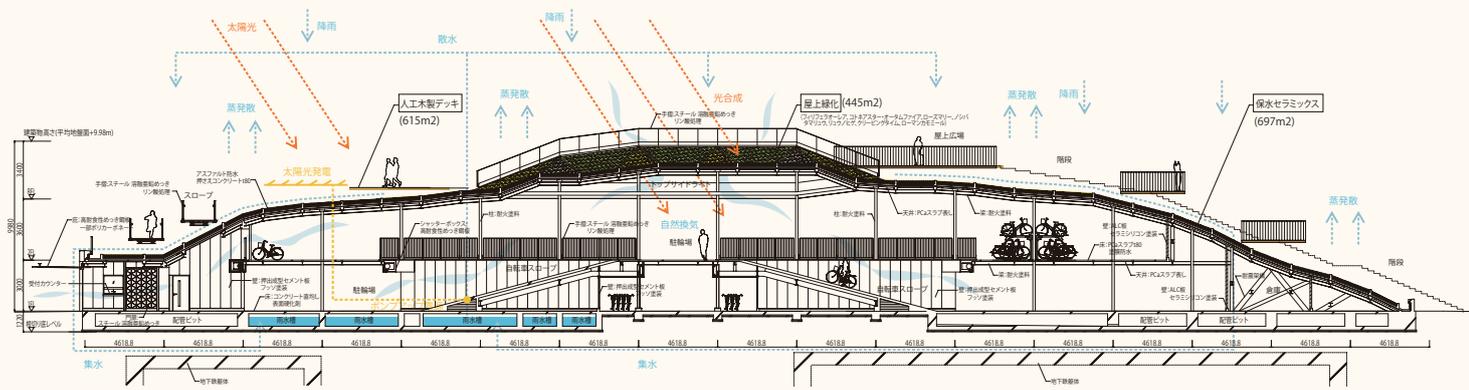
#### 選評

自動車の生産消費量の増大が日本の環境破壊の大きな要因のひとつだが、この計画は大きな視野に立ち、われわれを取り巻く環境問題に取り組んでいる点で秀逸である。都市生活と環境の問題で油を消費しない、そして排ガスも放出せずに人間が移動するに歩くよりも速い自転車は大事である。そして大都市には、キチンとした総合的見地に立って考えられた自転車置き場はまだ出現していない。

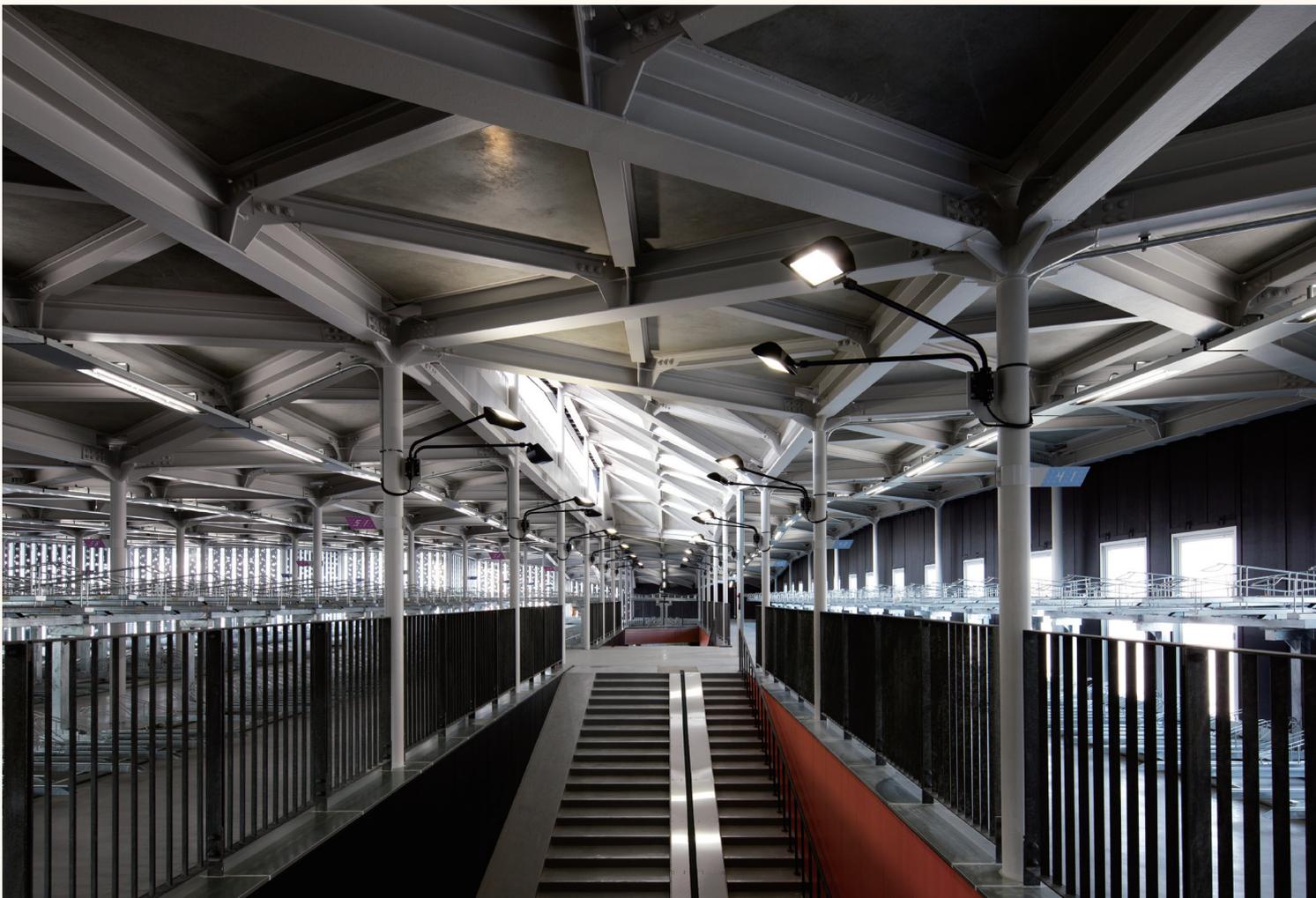
この押上駅前の駐輪場はその点、これからの自転車文化という世界の拡張のためには有意義である。

都市中に人工の丘をつくり、その丘には人々も自由に登り降りでき、子供たちも時には遊べる。その丘の中に大きな駐輪場スペースを設けたのがまず良い。人工の丘は、環境工学的にさまざまな工夫もこらされている。環境設計らしきが、眼に見え難い空気浄化の狭い工学的分野に押し込まれがちな昨今、この人工の丘という眼に見えやすいデザインが環境分野の方々の手で実現されたのは大きな収穫である。しかし、意匠としてのデザインは荒くつたない。主題の総合的把握力に比べるならば。

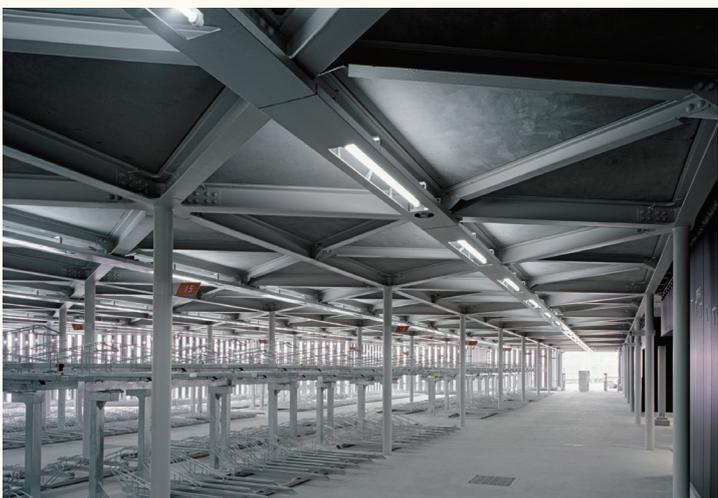
(石山修武)



D



E



F

- A 北側外観夕景。東京スカイツリーの脇に建つ2,600台収容の駐輪施設
  - B 西側全景
  - C 屋上スロープ。三角形のパッチワークパターンが広がる
  - D 断面図。「丘」のような形態とし、雨水を有効利用するパッシブ建築をめざしている
  - E 屋内階段と吹抜け
  - F 1階駐輪場内部。三角形グリッドを採用した鉄骨とPCスラブによる躯体
- 写真撮影 A・C・E…工藤政志  
写真撮影 B・F…鈴木研一